

01 オンライン対応等を考慮したアイスブレイクの分類とデータベースの開発

ビジュアルインタフェース研究室 小松 正尚

1. 背景と目的

近年では、「アイスブレイク」という言葉を耳にするようになってきている。アイスブレイクとは、初対面の集団や会議の時などに、発言しやすい空気を形成するために行われる活動を指す言葉である。

アイスブレイクを紹介する媒体として、書籍や個人の web サイトなど、様々な種類が存在し、内容も多岐にわたる。そのような中から個人が、目的に沿ったアイスブレイクを選定するには多くの時間を要する。また、特定の媒体だけでは各種アイスブレイクの比較が難しい。

そのため本研究では、各種媒体からアイスブレイクを収集と分類し、データベース化を行い、ユーザの目的に沿ったアイスブレイクを提示するシステムを開発する。

2. 関連研究

現在では様々なアイスブレイクを紹介、解説をする書籍が出版されている。その多くは書籍ごとにテーマがあり、そのテーマに沿ったアイスブレイクの紹介や分類を行っている。

児童・生徒を対象とした書籍[1][2][3]では、学級という集団にどのような学習効果があるのかを中心として、各アイスブレイクの紹介を行っている。また、他の書籍[4]では参加者の感情に着目してアイスブレイクを分類している。

このように書籍ごとにアイスブレイクの分類方法が一元化されておらず、複数の書籍から効果的なアイスブレイクを選定することが

難しくなっている。

田澤[5]は、アイスブレイクの分類に着目し、複数の書籍から分類方法を収集し、それらを統合、再分類し、一元的なアイスブレイクの分類表を作成した。この分類を参考にすることにより、効果的なアイスブレイクを選定が容易になったが、アイスブレイク自体の収集は個人で行わなければならない。

3. 本研究の提案

本研究では、アイスブレイクの収集と分類、データベース化を行い、アイスブレイクの検索を可能としたシステムの提案を行う。検索方法はユーザがいくつかの質問に答えることで、検索結果が表示される形式にする。これにより、ユーザが短時間で直感的に目的に沿ったアイスブレイクを選定することを可能である。

また、現在では新型コロナウイルス感染症の影響もあり、オンラインでアイスブレイクを行う機会が増えている。そのため、本研究では「オンライン適正」「ソーシャルディスタンス適正」も分類の対象とする。

4. アイスブレイクの分類

本研究では関連研究で紹介した書籍を元に、アイスブレイクの収集と分類を行い、「人数」「所要時間」「オンライン適正」「ソーシャルディスタンス適正」「活動内容」「学習効果・目的」「教育現場への適正」の8項目に分類した。

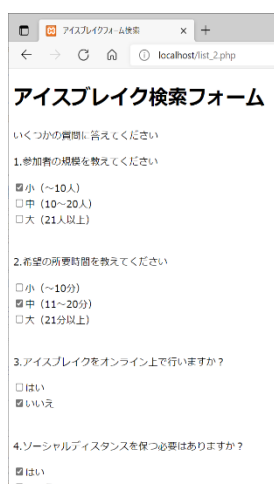


図1 検索フォーム



図2 検索結果

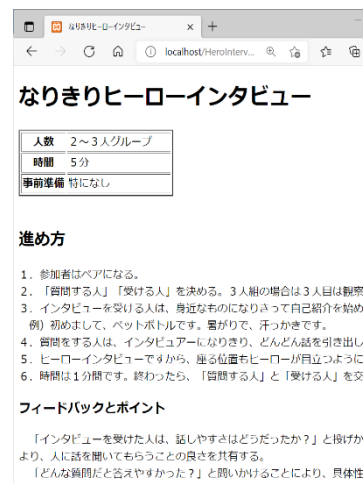


図3 詳細ページ

5. システム概要

5.1. 開発環境

本研究では XAMPP を使用し、アイスブレイクの検索用 web ページを作成する。web ページ上の検索フォームとアイスブレイクの詳細は HTML を用い、データベースとのやり取りは PHP を用いて開発を行う。

5.2. 操作方法

検索フォームでは 9 つの質問が表示される(図 1)。各質問項目に回答し、検索フォーム下部にある「検索」ボタンを押すことで、検索結果を表示するページに遷移する。

検索結果は質問の回答に応じて絞り込まれたアイスブレイクが提示され、その中からユーザの目的に沿ったアイスブレイクを選ぶことになる(図 2)。また「詳細」と書かれた URL にアクセスすることで、各アイスブレイクの詳細ページに遷移する。

詳細ページでは、各アイスブレイクの「進め方」「フィードバックとポイント」が説明される(図 3)。

6. まとめと課題

本研究ではアイスブレイクのデータベース

化を行い、検索システムの開発を行った。検索方法を簡単な質問形式にし、絞り込むことでアイスブレイクの選定を容易にすることが実現できたと考える。

今後は、本システムをユーザが実際に使用し評価してもらう必要があると考える。

参考文献

- [1] 内藤知佐子, 宮下ルリ子, 三科志穂, 学生・新人看護師の目の色が変わる アイスブレイク 30, 医学書院, 2019.
- [2] 江越喜代竹, たった 5 分でクラスがひとつに! 学級アイスブレイク, 学陽書房, 2016.
- [3] 鈴木邦明, 赤堀達也, オンライン ソーシャルディスタンスでできる学級あそび&学級アイスブレイク, 明治図書, 2021.
- [4] 青木正幸, アイスブレイクベスト 50, ほんの森, 2013.
- [5] 田澤実, ワークショップにおけるアイスブレイク分類の試み, 法政大学キャリアデザイン学会, 生涯学習とキャリアデザイン, 15 巻, 1 号, 2017.